

NO WAR! ・NO CVN!

武力で平和はつukれない!

世界の人々と手をつなぎ

平和の花を咲かせましょう!



12月17日(日)

1時30分より集会 よこすかヴェルニー公園

2時 パレード出発 市役所公園まで

今年、米海軍横須賀基地が空母の母港となって50年、原子力空母は15年になります。来年後半には原子力空母ロナルド・レーガンからジョージ・ワシントンと交代になるのです。いつまで、米国外でただ一つの原子力空母母港の街、よこすかが続くのでしょうか?

横須賀にアメリカの原子力空母がいるということは横須賀に原発が2基あるということです。アメリカに横須賀が守られているという人々があります。しかし、横須賀は標的の街なのです。原子力空母がいる限り危ない街なのです。原子力空母はいりません!

世界中で戦争が止まりません、くり返される戦争の主役はいつもアメリカ軍です。その中心には原子力空母がいるのです。原子力空母は「戦争空母」! 戦争の道具はいりません、対話による外交を進め、人々の命を大切にしていきたいです。世界中の大人たちが手をつなぎ子どもたちの未来が笑顔になることを願います。12月17日のパレードはサンタパレードです。子どもたちへ平和の花を届けたいと企画しました。皆さんお誘いあわせてご参加ください。サンタが待っています。一緒に歩きましょう。



「街の時計になろう!」を合言葉に

エブロン Y デッキ 横須賀中央駅ワイデッキ

毎週火曜日1時から1時30分まで (祭日はお休み)

どなたでも参加できます。

連絡先 08050283357 ヤマシロ

<放射能災害から身を守る> 「事故が起きたらどうする?」学習会 9月10日

講師 NPO 法人原子力資料情報室の谷村暢子さん。福島原発事故後、「原発事故がおきたらどうする?!こどもを守るQ&A」の冊子を執筆されました。

放射能災害が起こると大混乱となって正確な情報が把握できなくなり、最重要事項の事故直後の放射性ヨウ素による子どもの被ばくを防止に関する情報がなかった。その中で断水のため水の配給に子どもも長蛇の列。放射性プルームの通過。炊き出しで使用した水道水の放射能物質汚染。など、原発事故発生時に福島で体験されました。

放射能災害からどう身を守るのか? 被ばく防護の原則・子どもの安定ヨウ素剤服用・食品汚染の状況を知ることが大切。又、放射性物質を避ける工夫や備えが必要。

原子力空母の避難基準は1km圏内は避難を実施・1-3km圏内は屋内退避を実施、空間放射線量が上昇してから避難開始。原発事故の基準と異なっている。

原子力災害の備え、事前に周辺状況を把握して家族と共有する・家族構成員に必要な食糧・備蓄品(安定ヨウ素剤等)を揃えて、自分で防護をする。放射性物質放出する前に避難をする。

原子力災害から身を守るには放射性物質から離れ、原子力を使用したものを廃止・遠ざけることが必要と感じました。

PFAS

人体に有害な有機フッ素化合物 PFAS が横須賀米海軍基地の排水溝から海に流出した。この問題について、市民17団体は横須賀市に原因究明と検査結果の公表を米海軍に求めるよう要請をした。対応した関係部署(国際交流基地政策課)は米軍と国の幕引きに同調する態度でした。このPFASは各地でも検出され大きな問題になっています。横須賀市は市民の安心と安全を考え対応してほしいものです。

「いらない!原子力空母」は市民団体と引き続きPFAS汚染を追及していきます。

わたしたちも
スタンディング



「世界中のおとなたちが」(替え歌)
世界中の おとなたちが
いちどに 手をつないだら
空も 歌うだろう
ラララ 海も 歌うだろう

世界中の おとなたちが
いちどに 肩をくんだら
地球は 平和になるだろう
ラララ 地球は 平和になるだろう

ひろげよう 私たちの夢を
とどけよう 平和の声を
さかせよう 平和の花を
世界に 虹を かけよう

世界中の おとなたちが
いちどに 歌ったら
こどもたちも 歌うだろう
ラララ 平和を 歌うだろう

